

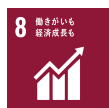
# SDGsへの取組

## SDGsポリシー

なんとミッションである「地域の発展」「活力創造人材の創出」「収益性の向上」の遂行を通じ、持続可能な地域社会の実現に向けて、地域が抱える社会問題を主体的に解決してまいります。

## SDGsの重点取組目標

SDGsの17項目の内、地域の発展と南都銀行グループの事業戦略に強く関連する「4 教育」「8 経済成長雇用」「9 技術革新」「11 まちづくり」「12 消費・生産」、及び持続可能な地域環境保全への取組として「13 気候変動」「15 陸上資源」の7つを重点取組目標として選定しています。



**【働きがいも経済成長も】**  
地域事業化への取組、  
金融アクセス・サービスの  
拡充



**【産業と技術革新の  
基盤をつくろう】**  
Fintech等を通じた顧客  
利便性向上



**【質の高い教育をみんなに】**  
金融経済教育の推進・拡大



**【住み続けられるまちづくりを】**  
地域の課題に向き合い、経済と  
コミュニティの活性化へ貢献



**【つくる責任つかう責任】**  
持続可能な消費と生産



**【気候変動に具体的な  
対策を】**  
低炭素社会実現



**【陸の豊かさも守ろう】**  
持続可能な森林環境の保全

## 融資ポリシー

環境、社会に対して負の影響を与える可能性のある融資については、慎重に取組可否を判断しその影響を低減・回避するよう努め、環境・社会問題に真摯に向き合っているお客さまに対しては、地域金融機関として適切な知見の提供や支援を行います。

なお、環境や社会に与える影響が大きいと考えられる次のような業種・セクターに対して融資を行う場合は十分に留意します。

1. 兵器  
戦争等に使用される殺戮・破壊を目的としたクラスター弾など非人道的な兵器を製造している企業への融資は行わない。
2. 石炭火力発電  
新設の石炭火力発電所建設を資金使途とする融資は原則として取り組まない。ただし、国のエネルギー政策等による高効率の発電所建設の場合などは個別案件ごとに慎重に取組可否を検討する。
3. 森林伐採  
森林伐採を伴う開発等の資金使途に対する融資に取り組む際には、違法伐採ではないか、また環境への影響等について配慮し、慎重に取組可否を検討する。

## 環境問題に取り組むユニコーンベンチャー、株式会社TBMにシンジケートローンを組成

プラスチックや紙の代替となる新素材「LIMEX(ライメックス)」を開発・製造・販売する株式会社TBMに対し、南都銀行が主幹事となり、地銀10行による総額24億円のシンジケートローンを組成しました。

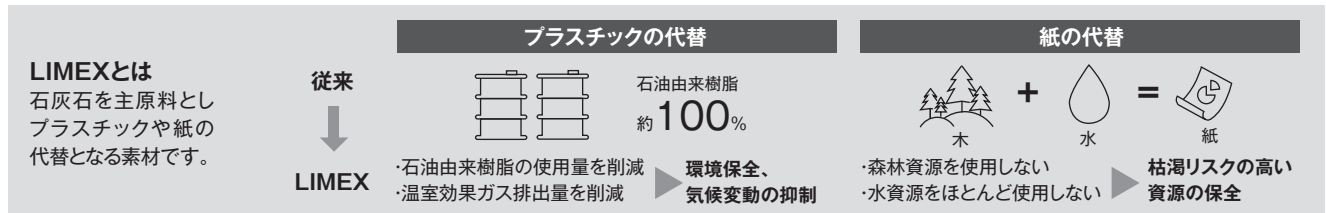
本ローンには株式会社日本格付研究所(JCR)よりグリーンローン評価として最上位【Green1】の認定が付与されています。

### シンジケートローンの内容

契約日	(当初契約日)2020年11月30日 (最終実行日)2021年3月31日
組成金額	24億円
融資形態	コミットメント期間付タームローン(融資期間10年)
資金用途	新工場建築資金(建設地:宮城県多賀城市)
幹事業務	アレンジャー兼エージェント:南都銀行
参加金融機関	南都銀行、秋田銀行、四国銀行、山形銀行、岩手銀行、山梨中央銀行、池田泉州銀行、青森銀行、群馬銀行、百十四銀行

### 株式会社TBMの概要

本社	東京都中央区銀座2-7-17 6F
設立	2011年
資本金	154億2,993万円(資本準備金含む)/ 2021年3月時点
事業内容	環境配慮型の素材及び製品の開発・製造・販売



上記のほか、南都銀行はプロジェクトファイナンスを通じて太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの普及・促進を図っています。

2020年度は、6件総額53億円の再生可能エネルギー関連プロジェクトファイナンスに取り組みました。プロジェクトによる年間の発電量合計は約108GWh、年間のCO<sub>2</sub>削減効果は約5万t-CO<sub>2</sub>\*となります。

※年間削減量は、年間発電量(計画値)に案件所在地の系統電力の電気事業者別排出係数を乗じて当行が算出。